

富山高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	船舶航海実務			
科目基礎情報								
科目番号	0211		科目区分	専門 / 選択				
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	商船学科		対象学年	5				
開設期	後期		週時間数	2				
教科書/教材	船と海運の話							
担当教員	笹谷 敬二							
到達目標								
機関コース卒業生の就職分野において、最小限必要で実務的な商船学科航海コースの専門科目の概要を理解する。内容は、海運業の概要、船体主要目、船体構造、船舶設備、載荷、操船、船橋当直、入出渠・船体保存手入れ、海上保険、備船契約、I S Mコード、海上交通ルールおよび船位論である。								
ルーブリック								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	海運業の概要、船体主要目、船体構造、船舶設備、載荷、操船、船橋当直、入出渠・船体保存手入れ、海上保険、備船契約、I S Mコード、海上交通ルールおよび船位論 について講義を行う。							
授業の進め方・方法	教科書および配布資料を中心に適宜、演習および実船を用いながら授業を進める。							
注意点	出来るだけ質疑・応答を取り理解度を確認しながら講義を進めるように努める。評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者に対しては、その評価を60点とする。							
授業計画								
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	船体要目概要			船の歴史と海運の役割		
		2週	船体構造概要			1)船の種類 (2)船の構造 主要寸法(長さ、幅、深さ)、喫水マーク及び満載喫水マーク、トン数、船級協会等構造様式、船首構造、船尾構造、倉内構造等		
		3週	船舶設備概要			(1)船の設備 操舵設備、錨及び錨鎖、荷役設備、救命設備等		
		4週	船体保存手入れの概要			入渠・出渠、船舶検査、船体保存手入れ等		
		5週	操船概要			係留施設(岸壁、ブイ係留等)の種類、係留方法等		
		6週	船橋当直概要			航海当直、停泊当直(主な保安業務内容、荷役当直)に関する事項		
		7週	中間試験					
	4thQ	9週	備船契約概要			用船契約の種類、定期船の運送契約等		
		10週	I S Mコード概要			制定の経緯、目的、I S O 9 0 0 0 シリーズとの関係等 定義、適用、運用等の内容		
		11週	海上交通ルール概要 1			海上衝突予防法(適用、基本的な考え方、航法)		
		12週	海上交通ルール概要 2			海上衝突予防法(航法、形象物、信号等)		
		13週	海上交通ルール概要 3			海上交通安全法 港則法		
		14週	船位論			船位、航程等に関する用語、地文航法等		
		15週	期末試験					
		16週	答案返却 解説 授業 アンケートなど					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	